

ドベ、埋め立てが最良

水俣市長 百間港で意向表明

水銀を含むドベがたい積している水俣市百間港をどうするかという長い懸案について、浮水水俣市長は十八日の同市議会本会議の席上「埋め立てが最良の方法だ」との意向を明らかにした。

これは元山弘議員（共産）が「百間港のドベにはまだ多量の水銀が含まれており、異変や食物連

鎖などで水俣病の危険は去っていない。対策はあるか」と質問したのに答えたもので、同市長は「私も頭を痛めている問題である。いたずらに扱えば、汚染が拡大される恐れもある。また扱うとなれば漁業組合との問題もある。市独自では困難な面があり、国、県とも相談する必要がある。私自

身の見解としては埋め立てるのが最良の方法ではないかと思う」と述べた。

なお、百間港はチッソ水俣工場
の排水口となっており、県の調査でも多量の水銀を含んだドベがいまなおたい積している。